

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第27週(令和8年6月29日～令和8年7月5日)

<発生動向>

第27週の手足口病の定点当たり報告数は10.00で5週連続で警報レベルです。咽頭結膜熱(0.69)やA群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.31)、ヘルパンギーナ(1.77)も先週より増加しています。

国内では、毎年、夏になると手足口病やヘルパンギーナ、咽頭結膜熱などの「夏かぜ」といわれる感染症が流行します。いずれの感染症も手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策が重要です。

患者の呼吸が苦しそうなときや、食事や水分が取れずぐったりしているなどの症状がある場合は、すぐに医療機関に相談しましょう。手足口病の詳細については別紙もご参照ください。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	2	87	11	410	213	7,058
腸管出血性大腸菌感染症	1	18	9	79	123	1,354
梅毒	3	69	15	354	172	5,610
百日咳	1	25	7	153	66	3,488

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	40	1.74	2.30	433	3.55	4,044	1.08
インフルエンザ	1	0.04	0.09	2	0.02	310	0.08
急性呼吸器感染症	1,218	52.96	53.78	6,410	52.54	176,883	47.47
RSウイルス感染症	8	0.62	0.54	69	0.99	764	0.34
咽頭結膜熱	9	0.69	0.46	49	0.70	1,220	0.54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	3.31	1.77	192	2.74	5,076	2.25
感染性胃腸炎	100	7.69	8.00	409	5.84	10,373	4.60
水痘	3	0.23	0.08	46	0.66	949	0.42
手足口病	130	10.00	7.62	607	8.67	10,396	4.61
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	0	0.00	135	0.06
突発性発しん	3	0.23	0.38	23	0.33	759	0.34
ヘルパンギーナ	23	1.77	1.08	175	2.50	2,592	1.15
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.08	4	0.06	119	0.05
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	2	0.08	4	0.01
流行性角結膜炎	3	0.50	0.33	18	0.69	308	0.44
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	19	0.04
マイコプラズマ肺炎	2	1.00	0.00	4	0.27	108	0.22
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	14	0.03

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。

感染症対策

手や足、口の中などに
発しんほっはありますか？

てあしくちびょう 手足口病

手足や口の中などに水疱ほうを伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。



感染してから数日後に2~3mmの水疱(発しん)がみられます。

流行時期

夏を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って染すること)が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感知されており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感染経路



- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。た、感染しても発病しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

手

手足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- 高熱が2日以上続く
- 嘔吐する
- 頭を痛がる
- 視線が合わない
- 呼びかけに答えない
- 呼吸が速くて息苦しそう
- 水分が取れずにおしっこがでない
- ぐったりとしている

治療方法

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急 (<http://kodomo-qq.jp/>)」などのWebサイトを参照したり、「#8000 (こども医療電話相談)」にご相談ください。

手足口病について ▶

 厚生労働省



感染症対策課 2026年6月 作成